

食事中、むせたりしたことはないですか？

《嚥下障害とは》

一時的であれば心配ありませんが、こうした症状が続くのであれば嚥下障害の可能性があります。嚥下障害とは病気や老化により、食べたり・飲んだり・唾液を飲むことも難しくなる状態のことです。高齢者に多い病気だと思われがちですが、50歳、前後から飲み込みの力が弱くなる為、中高年の人なら誰にでも起こります。

特に高齢者の場合、誤嚥性肺炎を繰り返すと、生命にかかわることも少なくありません。気が付いたら早めに検査し予防策をとるようにしましょう。

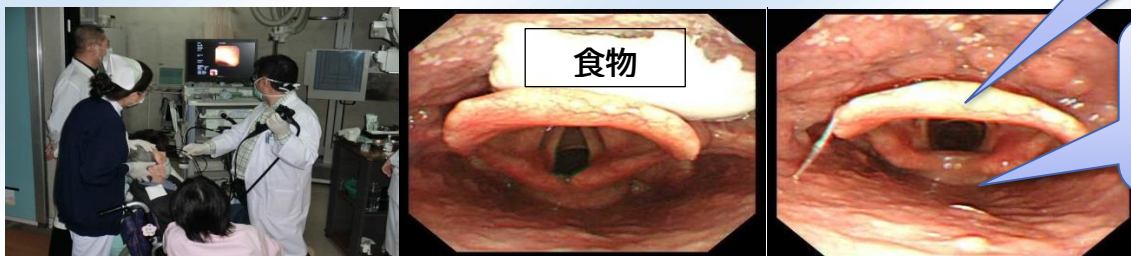
《主な症状》

- ・食べるのが遅くなった
- ・食べこぼす
- ・口の中に食べ物が残る
- ・**食事中にむせる**
- ・食べ物がつかえる
- ・食べ物や胃液が逆流する
- ・食事の時に鼻汁が見られる
- ・**咳が出る**
- ・痰が多い
- ・**食事中、のどがゴロゴロ鳴る**
- ・微熱が続く
- ・飲み込みにくい
- ・体重の減少がみられる

《当院での診察手順》

- ① 医師による診察
- ② 簡易嚥下評価(スクリーニング) 評価内容に応じて③か④を選択します
- ③ 嚥下内視鏡検査(VE) **毎週土曜日に実施:要予約**
鼻腔にカメラを挿入し、食事を飲み込むまでの映像をモニターにて確認します

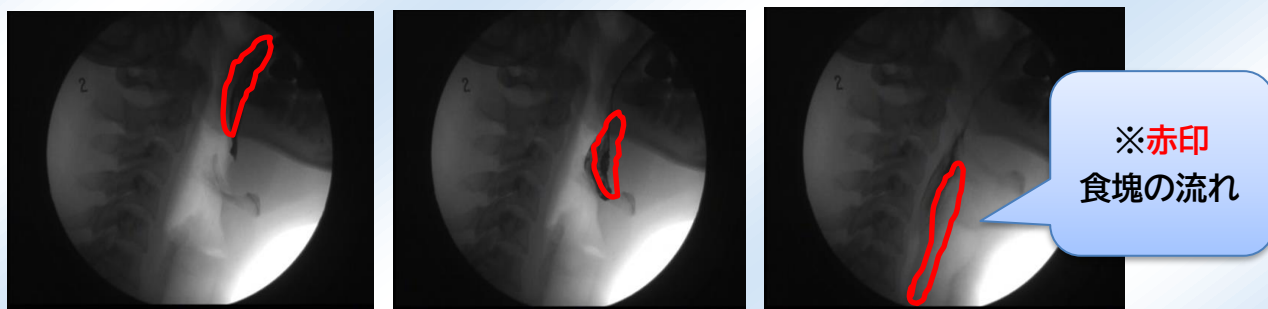
(喉頭蓋)
気管に食べ物が
入らないよう蓋
をする



(食道入口部)
食物が通る所

④ 嚥下造影検査(VF) **毎週土曜日に実施・要予約**

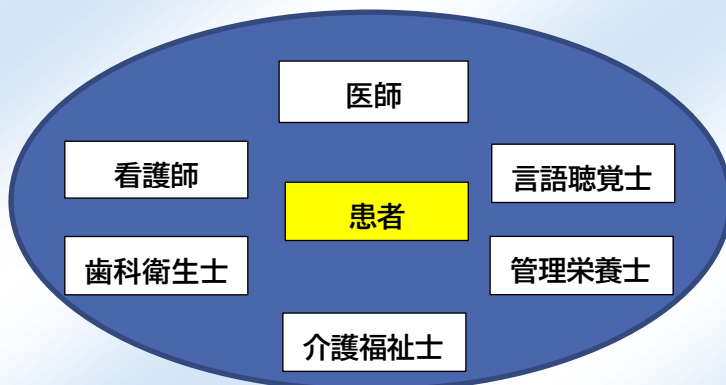
X線透視することで安全に食物が食道を通るかを確認します。適切な食事形態や姿勢を確認することができます



以上の方法で嚥下機能の問題点を評価し医師の指示のもと個々の症例に応じたリハビリテーションを行っていきます。

高齢化社会を抱える中で当院を利用させていただきます利用者様に対しスタッフ間で情報を連携・共有し、楽しく安全に口から食事が行えるよう最適なプランを提供させていただきます。

《担当職種》



日本摂食嚥下リハビリテーション学会 評議員				
医師 1名	看護師 ー	言語聴覚士 1名	管理栄養士 ー	歯科衛生士 ー
日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学会認定士				
医師 1名	看護師 1名	言語聴覚士 2名	管理栄養士 ー	歯科衛生士 ー

【令和3年1月現在】

※ 言語聴覚療法とその対象疾患

脳卒中や頭部外傷によって脳に損傷を受けると、言語などのコミュニケーションに必要な機能や食べる能力に障害をきたすことがあります。言語聴覚士(ST)は、**ことばや飲み込みに障害を持った人々**に対して、機能の改善を促す訓練や残された能力を利用し日常生活を送れるよう患者様・ご家族に対し今後の方向性についての説明も行います。また心理的ケアなど様々な側面からのリハビリテーションも行っております。

※ **リハビリテーションの日時**に関しては言語聴覚士と相談し調整します。

《業績》

～学会発表～

- ・第 15 回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学術大会
【送り込み障害の QOL 向上を目指して トロミ餡の調整についての検討その1】
- ・第 15 回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学術大会
【送り込み障害の QOL 向上を目指して トロミ餡の調整についての検討(その 2)】
- ・第 16 回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学術大会
【嚥下困難者に適したスティック状高エネルギーの開発(その1)スライスゼリーに関するアンケート結果】
- ・第 16 回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学術大会
【嚥下が困難な患者に適したスティック状高エネルギーの開発】
～物性評価と VF・筋電図を用いた嚥下機能の分析～
- ・第 16 回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学術大会
【嚥下が困難な患者に適したスティック状高エネルギーゼリーの開発(その 3)継続摂取による栄養改善の効果】
- ・第 17・18 回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学術大会
【高齢者にとって本来の意味での食事の楽しさとは】
- ・第 24 回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学術大会
【抗 NMDA 受容体抗体脳炎によって嚥下障害を呈した1症例】
- ・第 24 回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学術大会
【筋委縮性側索硬化症患者の唾液嚥下について】
- ・第 25 回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学術大会
【抗 NMDA 受容体抗体脳炎によって嚥下障害を呈したがリハビリにより経口摂取に繋がった1症例】
- ・第 25 回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 学術大会
【神経難病の嚥下反射誘発法の検討】

～論文～

A novel method for triggering the swallowing reflex in patients with amyotrophic lateral sclerosis: the Ishizaki Press Method
dysphajia 2021.1.26.

～外部活動～

山口県 歯科衛生士学院 講師

平成22年 9月 山口県 歯科衛生士会 研修会

24年 2月 山口市 歯科医師会 研修会

11月 山口県 訪問リハビリテーション実務者研究会

26年 11月 第22回 山口摂食嚥下技術セミナー

28年 1月 山口市 吉南薬剤師会 研修会

2月 山口県 作業療法士会 地区別勉強会『嚥下評価～訓練』

6月 山口市 介護サービス提供事業者連絡協議会 訪問サービス部会

29年 9月 山口県 光市 三師会 研修会『嚥下基礎～訓練』

30年 6月 山口県 作業療法士会 地区別勉強会『頸部聴診法について』

31年 7月 山口県 老人保健施設協議会 看護・介護部会研修会

～高齢者の誤嚥リスクと経口摂取への対策～

令和2年 2月 山口県 老人保健施設協議会 看護・介護部会研修会最後まで口から食べる

～摂食嚥下障害に対する食事～

山口摂食嚥下研究会(山口摂食嚥下技術セミナー)

【講師陣 所属施設】

NPO 法人 口から食べる幸せを守る会

大阪大学 大学院 歯学研究科 顎口腔機能治療学教室

県立広島大学 健康科学科

国立国際医療研究センター病院 リハビリテーション科

埼玉県 総合リハビリテーションセンター リハビリテーション部

昭和大学 歯学部 口腔衛生学教室

昭和大学 歯学部 口腔リハビリテーション科

昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門

潤和会 リハビリテーション診療研究所

諏訪赤十字病院 リハビリテーション科

聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部

大生水野クリニック 耳鼻咽喉科

調布 東山病院 リハビリテーション科

東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科

東京医科大学八王子医療センター

特別養護老人ホーム しゃんぐりら栄養科

長崎大学附属病院 リハビリテーション部

長崎リハビリテーション病院 法人本部 人材開発部

浜松市リハビリテーション病院

藤田医科大学 看護部

藤田医科大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科
北海道大学大学院 歯学研究院 口腔健康科学分野

- ※1 当院は現在、日本摂食嚥下リハビリテーション学会 **嚥下リハビリ相談窓口**となっております。
- ※2 山口摂食嚥下研究会及び山口摂食嚥下技術セミナーの**事務局(企画・運営)**を行っております